

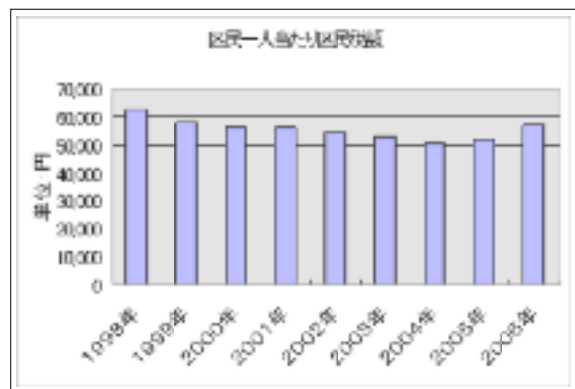
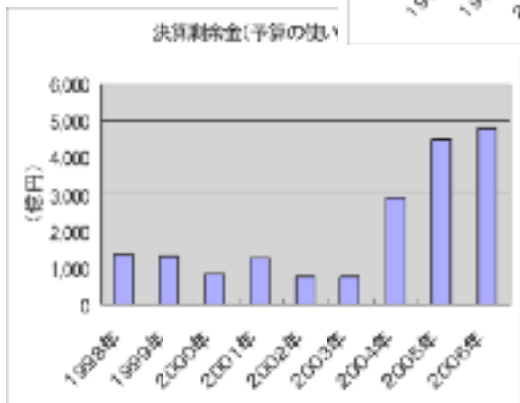
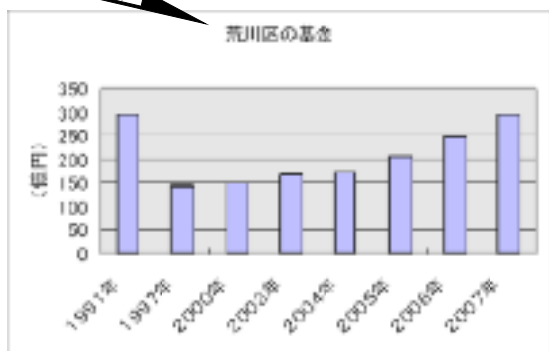
2008年・荒川区政の課題を考える...

大增税と福祉切り下げなどの影響で 区財政が「好転」！いまこそくらし応援に

荒川区の基金残高(各年度末)

1991年	296億円	(最高時)
1997年	144億円	(最低時)
2000年	150億円	
2003年	169億円	
2004年	175億円	
2005年	206億円	
2006年	249億円	
2007年	295億円	

(07年は、12月現在)



荒川区は、一九九七年あたり税額が毎年下がっており収入の減少がわかります。最近の二年は、庶民増税や働き盛りのマンション住民の増加も影響しているようです。区民の目で見ただけで区財政分析も必要で

す。みなさんのご意見お配りしている区民アンケートなどでお寄せ下さい。

基金(区の貯金)などの一部を計画的に使えば、いっそうの子育て支援、介護負担軽減など可能です

いま「構造改革」の痛みが区民生活を直撃しているだけに、くらしを守る防波堤としての荒川区の役割発揮が求められます。すでに、日本共産党区議団は、重点要求を提出していますが、区財政の黒字分のごく一部を使うだけで介護保険料の低所得者免除や重度介護高齢者手当、就学援助拡大など(下表)実現は、三億円余でできます。区民の声で区政を動かしたいものです。



区民要求実現にはどれだけかかるの
(昨年2月の共産党提案予算修正から)

	予算(千円)	備考
重度介護高齢者手当	216,000	介護度4、5に月1万支給
高齢者半額入浴制度準備	1,500	制度創設の準備経費
介護保険料負担軽減助成	48,000	低所得者へ
暖房器具など助成	3,000	低所得者へ
障害者福祉負担ゼロへ	9,000	3%分をさらに助成
小中学校アルバム補助	11,250	卒業アルバム1人5千円助成
小中学生就学援助拡充	21,213	23区並みに拡充
合計	309,963	

これだけで3億円余です！

昨年暮れに成立した補正予算によって、新たに四十六億円を積み増した基金が二百九十五億円に。いま区の財政について区民の目線でチェックする必要があります。

荒川区は、一九九七年あたり税額が毎年下がっており収入の減少がわかります。最近の二年は、庶民増税や働き盛りのマンション住民の増加も影響しているようです。区民の目で見ただけで区財政分析も必要で

**いまある区の財政をどう生かせばよいか...
区民アンケートでご意見をぜひお寄せ下さい**

【裏面もご覧下さい】

横山幸次

日本共産党荒川区議会議員

区政報告
ニュース

2008年1月号
区議会控室
3802-4627
fax3806-9246
E-mail: arajcp@tcn-catv.ne.jp
町屋相談室
荒川区町屋5-3-5
3895-0504

日暮里駅前再開発による電波障害対策に重大な遅れ 1329世帯のうち昨年末で70%台の達成...促進を要求



黒線の内側が電波障害対象地域

この問題に住民のみならずと取り組んだのが昨年7月、以来半年を経過。その後の追求で都電以北の町屋2、4、5丁目など1300世帯を超える大規模な対策の必要性が生まれました。区への対応も鈍く、再開発組合も経費のためかこれも鈍い対応でした。税金が何十億円もつぎ込まれているだけに、区も責任が問われます。お正月も写りの悪いテレビで我慢したご家庭もあるようです。「開発優先」の姿勢にも見えました。一刻も早い解決にむけ引き続きも力をつくします。

日暮里駅前再開発によるテレビ受信障害対策は...(08年12月20日現在)

	町屋2丁目	町屋4丁目	町屋5丁目	東尾久6丁目	合計
対象世帯数	331	485	407	106	1,329
切替工事(12/20)	205	368	315	58	946
	61.9%	75.9%	77.4%	54.7%	71.2%
1月予定	264	412	345	79	1,100
	80%	85%	85%	75%	82.8%
2月予定	297	436	366	90	1,189
	90%	90%	90%	85%	89.5%
3月予定	314	460	386	100	1,260
	95%	95%	95%	95%	94.8%

区の「改革」が何だったか
問われる年です

低賃金、不安定雇用が前提の「官から民」が大破綻… 保育園給食民間委託で委託料の大幅引き上げに



**「経費削減」効果もなし、調理員も次々交替…
それでも問題なしと強弁する区の責任は重大**

区は二年連続不調に終わった保育園給食調理民間委託を来年度に一気に六園拡大を計画。これまでの民間委託の検証を行ってみます。

ひぐらし保育園では一年半で調理副主任が五回交代。内三回は委託会社の社内異動です。荒川区で仕事を覚えたら収益の上がる別の職場に？

三河島保育園では、民間委託の目玉・非常勤栄養士配置で、一人目の方が転職、二人目も三人目も一ヶ月足らずで退職。現在は栄養士不在で区の保育課所属の栄養士が臨時に担当に。今まで行っていた巡回指導などはどうなったのでしょうか。

当初は、一園の委託費、約千六百万円非常勤の栄養士を配置しても六百五十万円削減できると盛んに説明していました。しかも直営の前提が、全員三

十年勤続年収七百万円、民間委託の経費をその半分近くまで切りつめるものでした。結果一園六百五十万円超の削減などとしてきました。しかし昨年の入札不調もあり今回のプロポーザル方式では想定金額を一園約二千万円に大幅アップ。区も昨年末の文教子育て委員会では、削減額「百七十万円」と答弁せざるを得ませんでした。経費削減論もすでに破綻はハッキリしています。(下表参照)

区の委託契約金のほとんどは人件費分。経験豊かな調理員を配置し定着してもらうには委託料の引き上げしかありません。それよりは、直営で退職者分を若手で補充し、保育園給食の技術技能の継承をはかるべきではないでしょうか。

まだある「改革」の問題点 全面的な検証が必要です

学校選択自由化はいま...

子どもの増加で汐入、峡田、尾久六の各小学校で対象外も。また、集中校が「詰め込み」学級で教育条件悪化。地域で育てる学校がなくなる...など

職員を「1500人台」に削減したというが

非常勤職員・再任用職員が400人、区立特養ホームなど指定管理、民間委託で無数の不安定、低賃金雇用の労働者に替わっただけ。そこで何が...

ふれあい館、保育など企業参入含めた民間任せに、児童事業もすべて民間事業者の手に

.....これってほんとうに良いの!?

民間委託で経費削減になったのか

区の当初説明(05年12月保護者説明資料当時)

直営(正規3人と再雇用)	民間委託料+非常勤栄養士	削減額
2536万円	約1596万円+288万	約652万円
(勤続30年の高い給与計算に)	(低賃金を前提にした計算)	

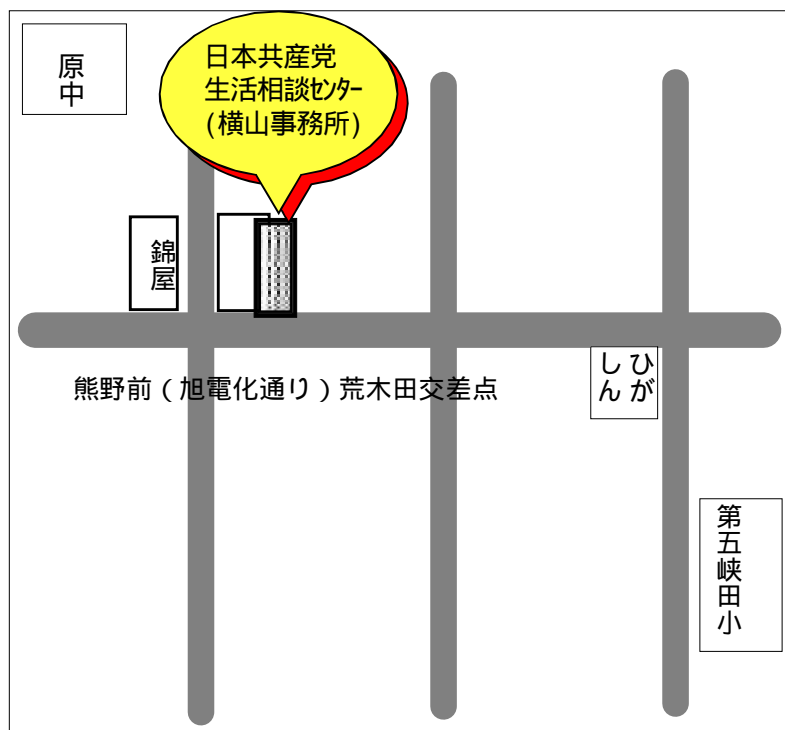
以上の委託条件で今年度は、全業者辞退

今回のプロポーザルの条件は...	削減額
委託料2000万円を予定+非常勤栄養士=2300万円	区の答弁では
直営とほぼ同じ、いったい何のための委託か	170万円...

若手をバランス良く雇用すれば直営の方が安いのでは!しかも安定!

日本共産党区議団町屋地域生活相談センター (横山幸次区議事務所)

住所 荒川区町屋5-3-5 神田ビル1階 TEL&FAX 3895-0504
(都バス 原中学校入り口そば)



定例法律相談会

毎月 第1月曜
午後6時から8時
横山事務所にて開催
お気軽にご相談下さい

北千住法律事務所の弁護士と横山区議が、ご相談をお聞きします。なお当日が無理な方は、ご相談下さい。他の無料相談などを紹介します。

連絡先 TEL&FAX 3895-0504
(区役所控室 3802-4627)
(地区事務所 3891-6682)

私たちは住民のくらしと命を守るネットワークをもっています。いつでもご相談を「定例法律相談」も月一回開催。くらし・子育て・職場の悩み、税金・医療・介護の相談など、国、都の共産党議員団や各分野の専門家とも連携して、解決をはかっています。

生活相談会・毎水曜午後2時から5時
※また相談は常時お受けしています。
上記の電話にご連絡ください。